

2021年2月期 決算説明会資料

2021年4月21日

PAL GROUP HOLDINGS

株式会社パルグループホールディングス 証券コード:2726

SMILE
IS
POWER.

社員と株主みんなの幸せのための経営



SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP HOLDINGS

目次

財務報告 2

2021年2月期 決算概況 3

2022年2月期 業績見通し 14

経営ビジョン 16

トピックス 19

株主様への対応 27

ESGへの取組み 30



SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP HOLDINGS

財務報告

2021年2月期 決算概況
2022年2月期 業績見通し



コロナ禍での決算を振り返って、また収束後の市場への対応について

2度に渡る緊急事態宣言の発出による様々な行動規制が出たことで、店舗への来客数が激減し、売上高が大きく減少しました。このような環境の中、店舗での売上を少しでもカバーすべく、ECの販売強化に徹底してヒト、モノ、カネを投入した結果、ECの販売体制構築を前倒し出来た結果となり、特に自社サイト『PALCLOSET』の伸びは、78.5%増となりました。

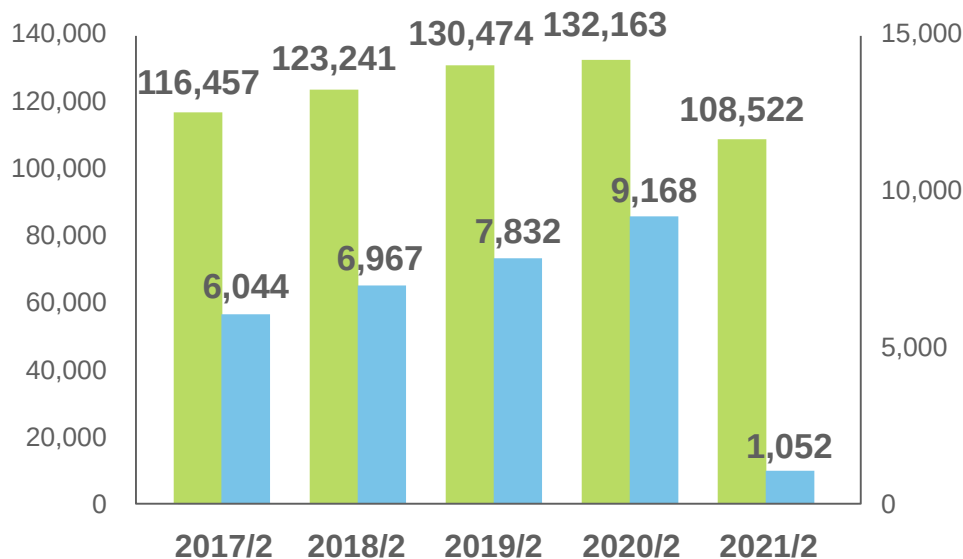
また、1回目の緊急事態宣言の解除以降、巣籠り需要からの強い地合いのなかで、3コインズを軸とした生活雑貨事業の伸張が、大きく業績の底上げを図ってくれています。

コロナの変異株の拡大の兆しなど、今なお予断を許さない状況が続いておりますが、コロナ禍収束後の市場環境に対応すべく、『高感度ライフスタイル提案型の生活産業』を目指して、体制構築に邁進して参ります。

連結

■ 売上高 ■ 経常利益

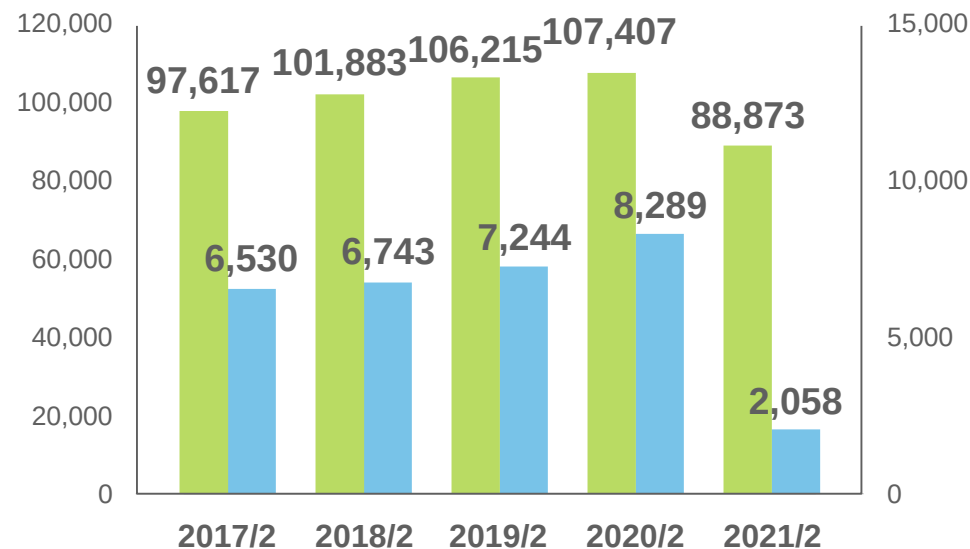
単位:百万円



(株)パルグループホールディングス単体 + (株)パル

■ 売上高 ■ 経常利益

単位:百万円



2021年2月期 (株)パルグループホールディングス連結損益状況

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2019年2月期	2020年2月期	2021年2月期			
			公表値	実績	前年比	公表値比
売上高	130,474	132,163	104,780	108,522	△17.9%	3.6%
売上総利益	72,700	74,386	57,820	59,237	△20.4%	2.5%
(売上比)	55.7%	56.3%	55.2%	54.6%	△1.7%	△0.6%
営業利益	7,933	9,067	△610	1,383	△84.7%	—
(売上比)	6.1%	6.9%	—	1.3%	△5.6%	—
経常利益	7,832	9,168	△940	1,052	△88.5%	—
(売上比)	6.0%	6.9%	—	1.0%	△5.9%	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,760	7,028	△1,220	270	△96.1%	—
(売上比)	3.6%	5.3%	—	0.2%	△5.1%	—

- 売上高は、前年比17.9%減少しました。全店舗が閉店となった第一四半期の結果を、その後、徐々にカバーして来ましたが、ブランドの立ち位置（価格、対象年齢層）により、また、店舗立地によって、衣料事業では厳しい結果となりました。
- 粗利益、販売管理費ともに、第一四半期の大きな赤字を抱えた中で、次第に落ち着きを取り戻せたことや、雑貨事業の奮闘によって利益の底上げが図られ、期中にて黒字化のメドを付けることが出来ました。

単位:百万円

	2019年2月期	2020年2月期	2021年2月期			
			公表値	実績	前年比	公表値比
売上高	106,215	107,407	84,639	88,873	△17.3%	5.0%
売上総利益	60,036	61,310	47,395	49,244	△19.7%	3.9%
(売上比)	56.5%	57.1%	56.0%	55.4%	△1.7%	△0.6%
営業利益	7,263	8,321	72	2,116	△74.6%	29.4倍
(売上比)	6.8%	7.8%	0.1%	2.4%	△5.4%	24.0倍
経常利益	7,244	8,289	△52	2,058	△75.2%	—
(売上比)	6.8%	7.7%	—	2.3%	△5.4%	—
当期純利益	6,317	7,000	△1,042	791	△88.7%	—
(売上比)	5.9%	6.5%	—	0.9%	△5.6%	—

- テレワークの普及や外出控えなど生活様式が変化し、コロナ収束後も、店舗にお客様が戻らないとの見方も強まる中、ECの販売強化に集中して店舗売上げの減少をカバーすると共に、自社サイト『PALCLOSET』での売上げ増加が、粗利益率の向上、販管費の低減へと繋がりを見せるなど、コロナ収束後の売上構成の在り方を確認出来ました。
- 3コインズを軸とした雑貨事業が、巣籠り需要の波に乗って大きく伸長し続けており、価格レンジを300円一本から、一部拡大したことで、新規の需要も取り込み、売上げ、粗利益ともに増大が継続するものと見込まれます。

株式会社ナイスクラブの状況

単位:百万円

	2019年2月期 実績	2020年2月期 実績	2021年2月期 実績	前年比
売上高	11,620	15,862	12,701	△19.9%
営業利益	775	815	△58	—
経常利益	796	835	△41	—
当期純利益	500	654	△78	—

- コロナ禍の中、ECでの販売拡大に向けた取り組みを強化し、主力ブランドone after another NICE CLAUP や、OLIVE des OLIVE などでは、通期で前年比30%超となるなど、好調な結果となりましたが、店舗での売上げ減をカバーするまでには至りませんでした。

セグメント別売上高実績及びEC売上高の状況

PAL GROUP HOLDINGS

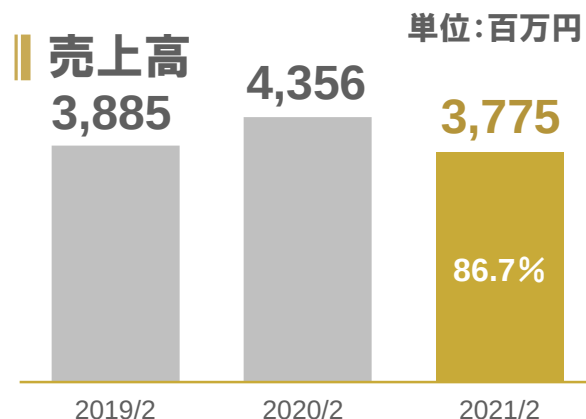
単位:百万円

		2019年2月期	2020年2月期	2021年2月期	前年比
衣料	売上高	96,139	97,102	75,540	△22.2%
	構成比	73.7%	73.5%	69.6%	
	営業利益	6,311	6,701	△759	—
	営業利益率	6.6%	6.9%	—	
雑 貨	売上高	34,231	34,968	32,904	△5.9%
	構成比	26.2%	26.5%	30.3%	
	営業利益	1,565	2,329	2,144	△7.9%
	営業利益率	4.6%	6.7%	6.5%	
その他	売上高	103	92	77	△16.3%
		2019年2月期	2020年2月期	2021年2月期	前年比
EC売上高	ZOZO TOWN	10,289	11,340	13,560	119.6%
	自社PALCLOSET	2,950	4,168	7,440	178.5%
	その他	1,990	2,082	2,698	129.5%
	合計	15,231	17,591	23,698	134.7%
	対衣料売上高比率	15.8%	18.1%	31.4%	13.3P

- コロナ禍の中、ECの販売強化に最注力した結果、対衣料売上高比率は31.4%と大台をクリアーし、また、サイト別での状況では、自社サイト『PALCLOSET』の比率が31.4%と、こちらも初めて30%台となるなど、ECの経営目標を大きく前倒し出来ました。

主なブランド

PAL GROUP HOLDINGS

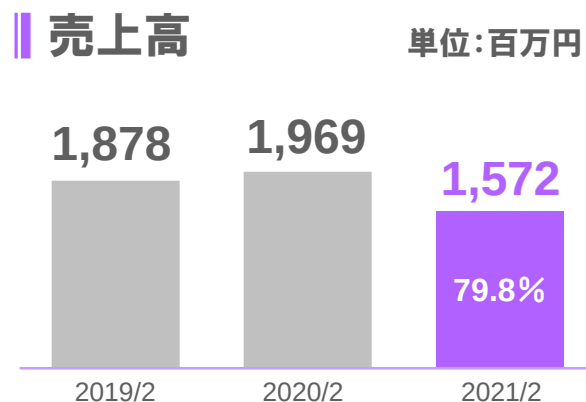


Kastane

アメリカンクラシックをベースとし、
世代・性別を超えたリアルスタイルの提案。
今の気分をmixしたマイルスタイルの発見。

カスタネ

店舗数 23店舗

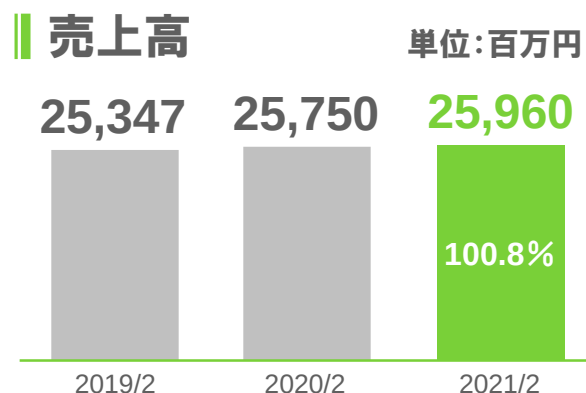


Lui's

モテる男のワードローブをテーマに
モード&ストリートのMIXコーディネート提案。
着心地、カッティング、素材感を重視した商品を
国内外問わず編集し発信していく。

ルイス

店舗数 11店舗



3COINS

何度でも行きたくなる！いつ行っても発見がある！
ワクワク・ドキドキがたくさん詰まったHAPPY STORE 3COINSは、あなたのちょっと“幸せ”をお手伝いする雑貨店です。キッチン・バス・インテリア・靴下・アクセサリなどの商品を、ベーシックなものから楽しくなるようなカラフルな色使いのものまで、300円を中心とした雑貨を幅広く取り揃えています。

3コインズ

店舗数 211店舗



販売費及び一般管理費

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

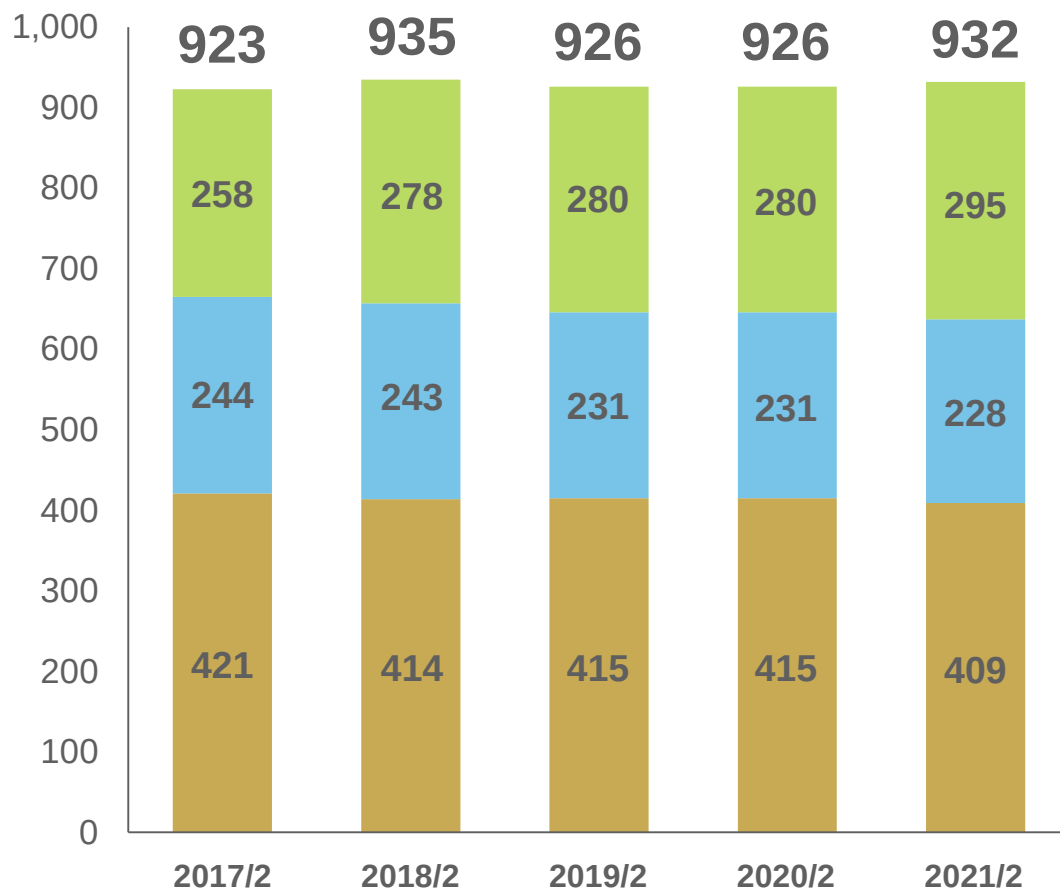
	2019年2月期	2020年2月期	2021年2月期	前年比
(株)パルグループホールディングス単体 + (株)パル	52,773	52,989	47,127	△11.1%
連結	64,766	65,319	57,854	△11.4%
販管費比率(連結ベース)	49.6%	49.4%	53.3%	3.9P
人件費比率	18.6%	18.5%	19.5%	1.0P
賃料比率	15.4%	15.1%	14.6%	△0.5P
広告宣伝費比率	1.2%	1.3%	2.2%	0.9P

単体、連結共に、販売管理費の抑制に注力した結果、大きく削減することが出来ました。人件費は、店舗閉鎖や、時短、また来客数の減少を受けて、派遣やアルバイトの員数を大きく減少したことで、減少していますが、対売上高比率では微増となりました。賃料についても、上期の全店閉鎖等への賃料返還など、前年比、大きく削減される結果となっています。

一方、緊急事態宣言の中、販路がECへ依存することになった事、また、今後一層のECの販売拡大に向けても販促費を増強して、対応しています。

期末店舗数932店舗 (前期末比+6)

■ その他地方
■ 関西圏
■ 関東圏



● 出店状況

当期での新規出店は72店舗、退店は66店舗の、純増6店舗となりました。

昨年、1回目の緊急事態宣言により、全店舗で閉店となった反省から、地方での新規出店を増やしました。

また、その後の巣籠り需要への対応から、雑貨事業で、3 Coinsを中心に新規で28店、退店13店、業態変更1店を実施しました。

一方で、立ち位置が厳しいブランドのパピヨネをスクラップしたことで7店舗を閉店するなど、衣料事業で44店の新規出店に対し、53店の退店を実施しました。

特別損益

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2019年2月期	2020年2月期	2021年2月期
固定資産売却益	310	—	—
投資有価証券売却益	—	—	333
受取補償金(平成30年台風21号災害に伴うもの)	198	—	—
移転補償金(本社移転に伴うもの)	242	—	—
特別利益合計	751	—	333
固定資産除却損	266	162	87
リース解約損	3	3	1
減損損失	475	387	793
災害による損失	136	—	—
関係会社株式売却損	—	10	—
特別損失合計	882	564	882

コロナ禍の中、立ち位置の厳しいブランドのスクラップを実施し、店舗を契約の前倒しで閉店とする等、減損損失は大きく膨らみました。

コーポレートガバナンスの推進、市場区分への対応に向けて、持ち合い株式を売却、売却益の計上をしています。

連結貸借対照表

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2019年2月期	2020年2月期	2021年2月期	前期末比増減	備考
流動資産	62,566	67,842	81,966	14,124	
現金及び預金	45,633	52,727	63,088	10,361	
売掛金	5,623	6,435	7,310	875	
たな卸資産	10,438	7,847	9,740	1,893	
その他	871	830	1,826	996	
固定資産	25,159	27,112	26,220	△892	
有形固定資産	8,153	7,780	7,677	△103	
無形固定資産	808	690	549	△141	
投資その他の資産	16,197	18,641	17,992	△649	
資産合計	87,726	94,954	108,186	13,232	
流動負債	33,358	36,004	52,181	16,177	
固定負債	12,728	12,323	11,652	△671	
負債合計	46,087	48,327	63,834	15,507	
純資産合計	41,639	46,627	44,351	△2,276	自己資本比率 41.0%
負債純資産合計	87,726	94,954	108,186	13,232	

連結キャッシュ・フロー計算書

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2019年2月期	2020年2月期	2021年2月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,378	14,705	1,450
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,182	△3,543	△1,188
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,291	△4,068	10,098
現金及び現金同等物の増加(減少)額	4,904	7,094	10,360
現金及び現金同等物の期首残高	40,728	45,633	52,727
現金及び現金同等物の期末残高	45,633	52,727	63,088

2022年2月期 連結・(株)パルグループホールディングス単体＋(株)パル業績の見通し

PAL GROUP HOLDINGS

単位：百万円

1. 連結

	2019年2月期	2020年2月期	2021年2月期	2022年上期	2022年下期	2022年2月期	前年比
売上高	130,474	132,163	108,522	63,000	71,000	134,000	25,478
売上総利益	72,700	74,386	59,237	35,500	40,450	76,000	16,763
販売管理費	64,776	65,319	57,853	33,700	34,900	68,600	10,747
営業利益	7,933	9,067	1,383	1,850	5,550	7,400	6,017
経常利益	7,832	9,168	1,052	1,700	5,400	7,100	6,048
特別損益	△130	△564	△548	△400	△400	△800	△252
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,760	7,028	270	800	3,100	3,900	3,629
粗利率	55.7%	56.3%	54.6%	56.4%	57.0%	56.7%	2.1%

2. (株)パルグループホールディングス単体 ＋(株)パル

	2019年2月期	2020年2月期	2021年2月期	2022年2月期	前年比
売上高	106,215	107,407	88,873	112,107	23,234
売上総利益	60,036	61,310	49,244	64,296	15,052
販売管理費	52,773	52,989	47,127	57,536	10,409
営業利益	7,263	8,321	2,116	6,760	4,644
経常利益	7,244	8,289	2,058	6,518	4,460
特別損益	△824	△193	△667	△700	△33
当期純利益	6,317	7,000	791	3,608	2,817
粗利率	56.5%	57.1%	55.4%	57.4%	2.0%

- 2022年については、なお、コロナ禍の影響が上期には残るものと考え、売上げ、利益ともに慎重な水準での想定としています。

2022年2月期 業績見通しの前提

PAL GROUP HOLDINGS

1. 店舗数の状況

	2019年2月期	2020年2月期	2021年2月期	2022年2月期 (現時点の確定数)
新規店舗数	61	48	72	31
退店店舗数	70	48	66	34
店舗数純増	△9	0	6	△3
期末店舗数	926	926	932	929

2. 既存店売上の状況（パルグループ各社の合計）

	2019年2月期	2020年2月期	2021年2月期 上期累計実績	2021年2月期 下期累計実績	2021年2月期 通期実績	2022年2月期 (前期比/前々期比)
既存店売上推移	102.1	100.1	66.0	93.5	79.7	123.0 / 98.0
うち小売既存店売上高	99.0	98.2	57.0	85.3	71.2	120.0 / 85.0
うちネット通販既存店売上高	132.2	114.0	123.3	138.8	131.1	126.5 / 165.0

	2019年 3月	2020年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2021年 1月	2月
既存店売上推移	104.7	69.1	25.0	41.4	95.0	81.5	83.8	81.7	104.2	91.2	91.3	81.9	110.5
うち小売既存店売上高	101.4	66.1	10.9	25.6	87.3	75.0	77.2	76.8	97.6	83.3	83.6	70.3	100.4
うちネット通販既存店売上高	140.8	101.9	117.0	135.0	139.8	120.2	126.1	115.4	150.2	147.7	134.2	144.7	140.3

3. 全店売上の状況

	2019年 3月	2020年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2021年 1月	2月	通期
全店売上	104.3	71.7	25.0	42.4	96.1	83.1	86.9	85.9	111.5	96.7	98.1	88.6	114.3	83.4
うちEC	149.1	98.8	117.3	135.2	139.9	120.7	125.9	117.6	157.5	152.8	141.1	154.4	150.9	134.7

4. 客数、客単価の推移

	客単価前々年比	客数前々年比
衣料事業	94.9%	65.7%
雑貨事業	110.7%	79.6%

SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP HOLDINGS

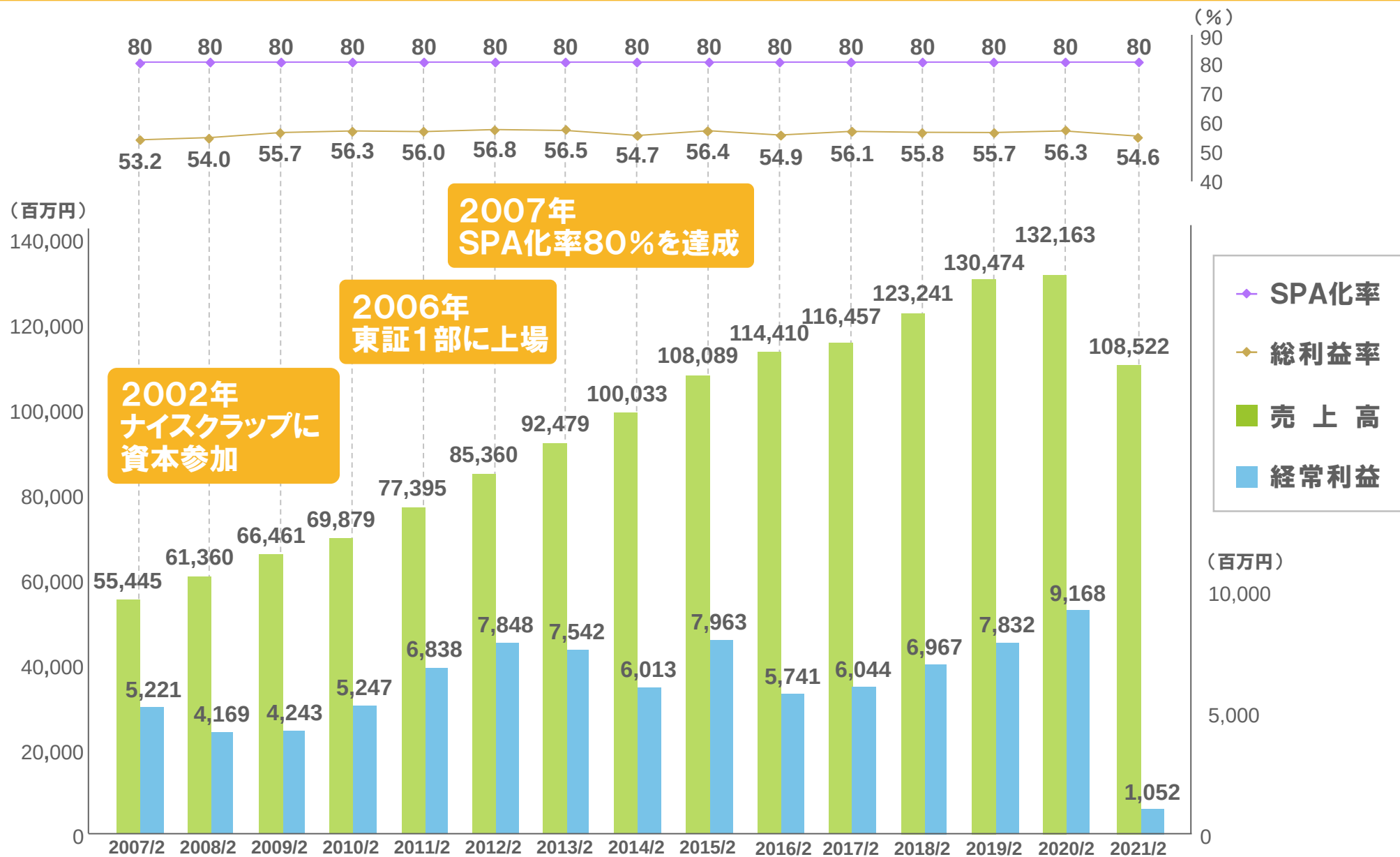
経営ビジョン

業績推移
中長期ビジョン



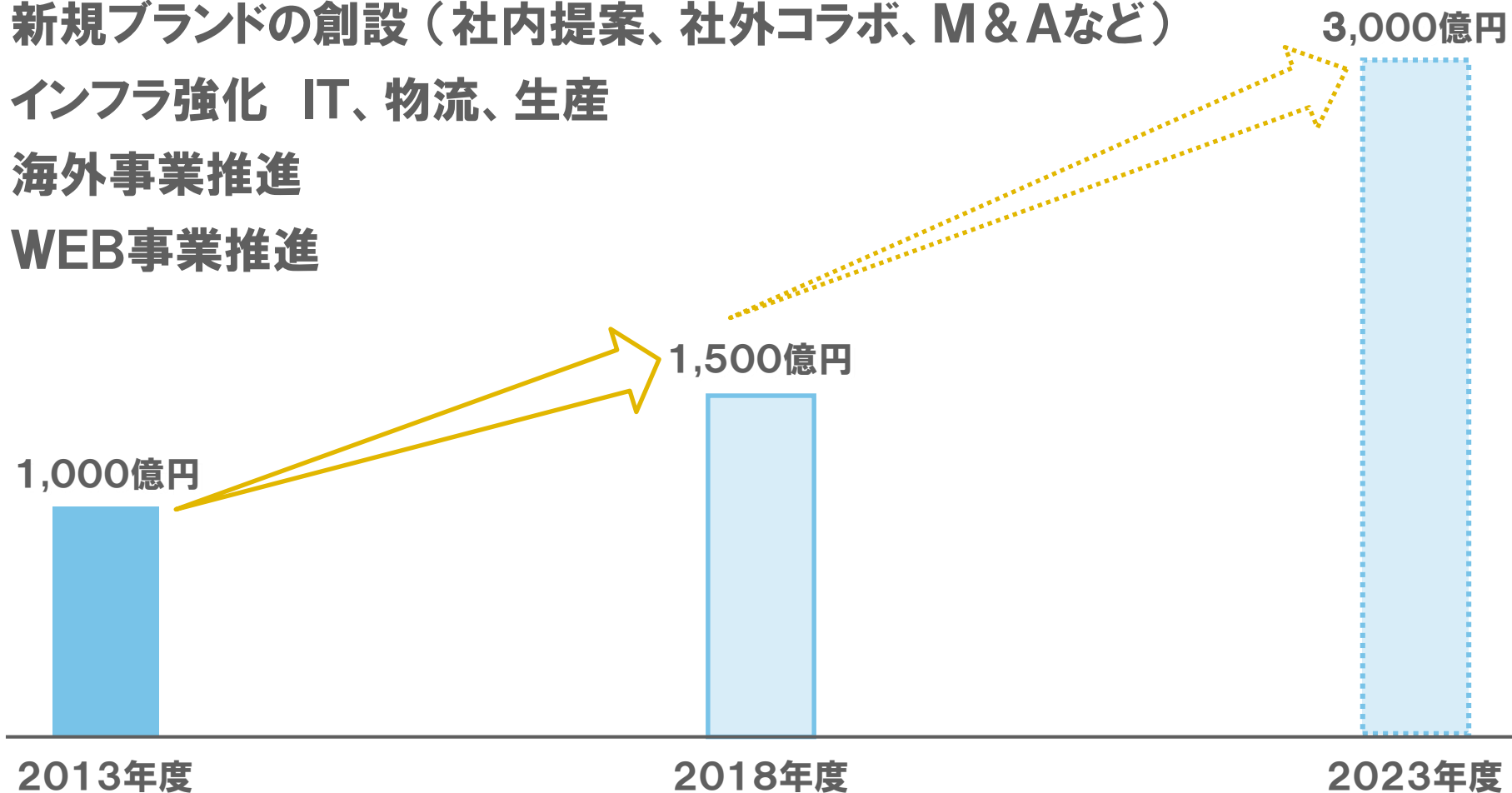
業績推移

PAL GROUP HOLDINGS



事業戦略

- 『パル流』経営のグループ会社への一層の浸透・持株会社体制へ移行
- 新規ブランドの創設（社内提案、社外コラボ、M&Aなど）
- インフラ強化 IT、物流、生産
- 海外事業推進
- WEB事業推進



SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP HOLDINGS

トピックス

1. MD改革の進捗状況
2. EC販売強化
 - 2-①. PAL流オムニチャネル
 - 2-②. PALアプリ会員数の推移
3. 女性執行役員就任のご紹介
4. サステナビリティへの取り組み
 - 4-①. サステナビリティへの取り組み
 - 4-②. サステナビリティへの取り組み



1. MD改革の進捗状況

具体的な施策

			粗利率	SPA化率
2013年 第1段階	○	売れ筋商品のMDサイクル(8週間)での完成段階 MD改革の断行を宣言	56.5%	80%を維持
2013年 11月		環境の変化への大きな舵取りを断行へ 温暖化の影響による春・秋のシーズンの希薄化、バーゲンセールの分散化・不人気化、ファストファッションの浸透・・・等々から	54.7%	80%を維持
第2段階	○	売れ筋商品のMDサイクルを、一気に4週間の短サイクルへ		
2014年		円安を主要因とする非常に厳しいアパレル小売の環境下 短サイクル化による、店頭鮮度の向上がプロパー消化率を押し上げ 適正型数、在庫管理の徹底により、セール期での粗利低下を防止	56.4%	80%を維持
第3段階	○	4週間の短サイクルMDの完成		
2015年		期初から、全ブランドの4W発注を達成		
2016年	○	生産プラットフォームの強化 春夏ものから生産集約を開始、グループの規模を生かした形で、 秋冬ものから本格稼動し、質の向上とコスト削減へ	58%を目指す	
	○	トレンドベーシックな価格戦略商品の取込み 従来の中間層が崩壊した市場に合わせた商品の投入/大型ブランド育成		
2017年	○	5つの施策の明確化 ①4週MDのさらなる徹底と推進 ②プロモーションのネット化(オムニチャネル) ③ECの強化 ④生産プラットフォームの活用・強化 ⑤プラスワンカテゴリーの強化 ⑥シフトの効率化		
2021年	○	店舗の大型化と併せ『高感度ライフスタイル提案型の生活産業』へ		

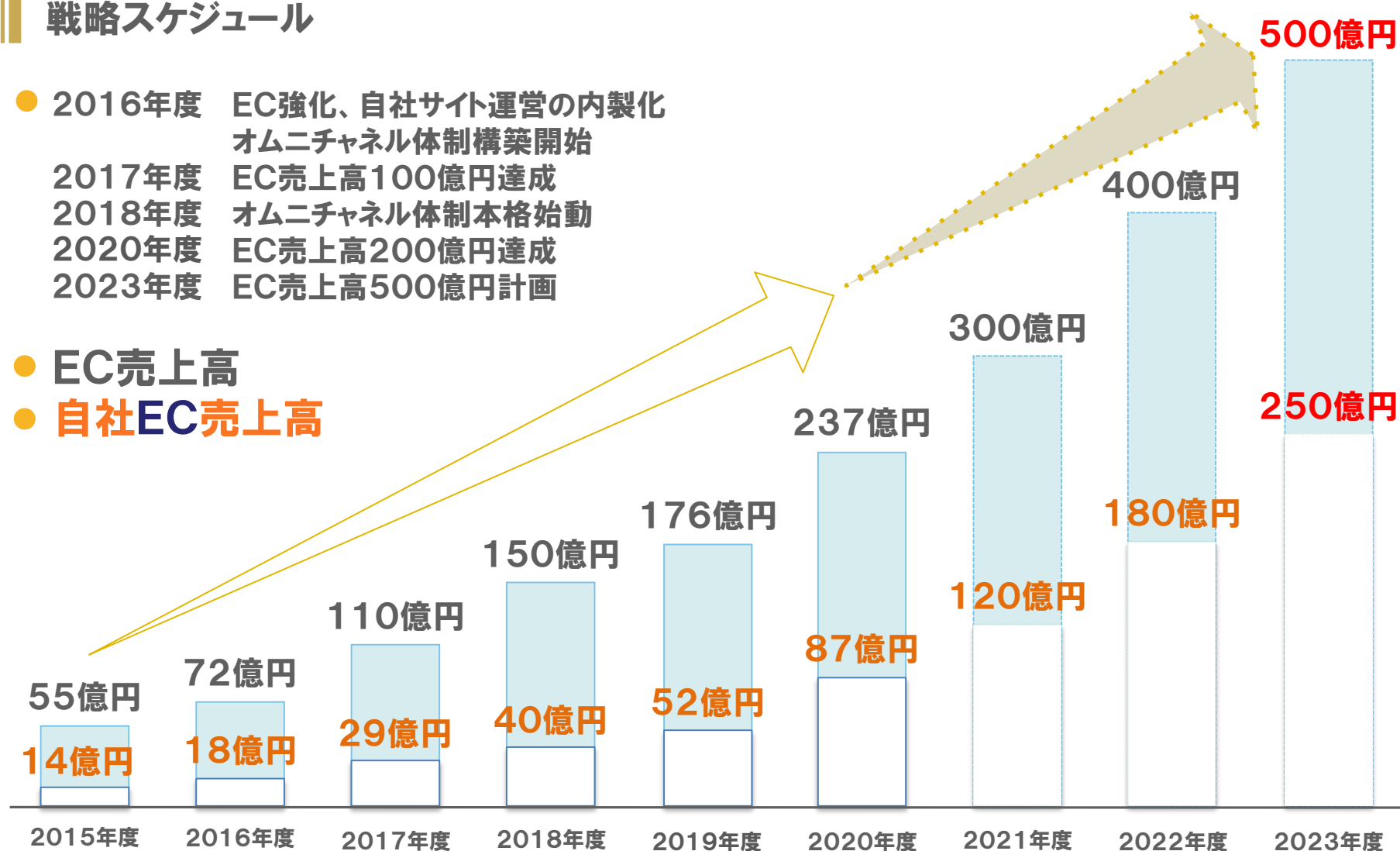
2. EC販売強化

戦略スケジュール

- 2016年度 EC強化、自社サイト運営の内製化
オムニチャネル体制構築開始
- 2017年度 EC売上高100億円達成
- 2018年度 オムニチャネル体制本格始動
- 2020年度 EC売上高200億円達成
- 2023年度 EC売上高500億円計画

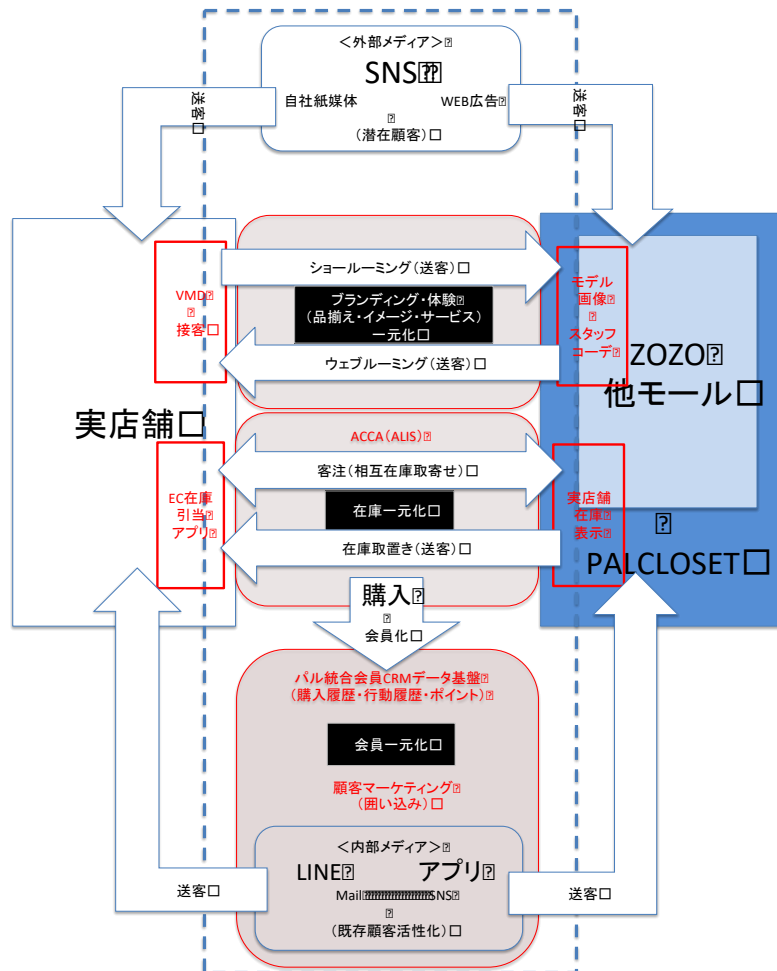
- EC売上高

- 自社EC売上高



2-①. PAL流オムニチャネル

Technology



システム・データの一元化
デジタルの活用

Human



実店舗・ECの境を超えた
スタッフの活躍

2-②. PALアプリ会員数の推移

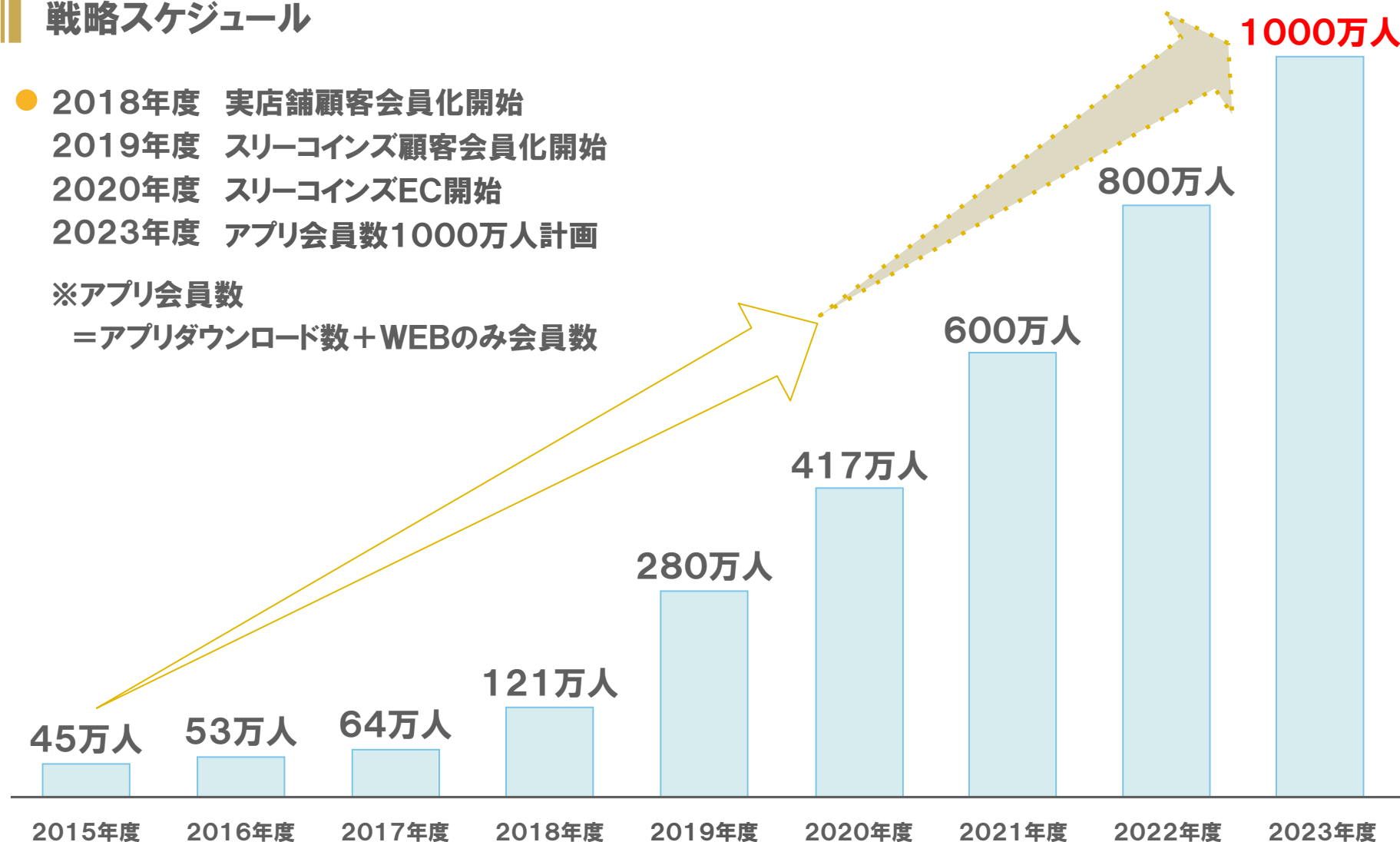
PAL GROUP HOLDINGS

戦略スケジュール

- 2018年度 実店舗顧客会員化開始
- 2019年度 スリーコインズ顧客会員化開始
- 2020年度 スリーコインズEC開始
- 2023年度 アプリ会員数1000万人計画

※アプリ会員数

=アプリダウンロード数+WEBのみ会員数



3. 女性執行役員就任のご紹介

私は、2001年(株)パルに入社し、『mystic』の店舗スタッフ、店長を経験した後、2006年から本部でブランド運営に関わることになりました。

本部では、mystic のディレクターを8年務めた後に、mystic のオケージョンラインで立ち上げた『Omekashi』や、女性らしいカジュアルなスタイリングを提案する『SHENERY』、ベーシックで遊び心がある大人の為のブランド『Loungedress』、mystic の妹ブランド『mline』など、現在では、5つのブランド、50店舗を運営する、(株)パル第2事業部の部長を務めています。

商品企画に関する展示会や仕入れ先などを訪問する国内外への出張、各ブランドの商品検討会議などの仕事に、250人のスタッフと共に、日々奮闘しております。

家庭では、6歳の女の子の母親であり、プライベートと仕事のバランスをととても大切にしています。



(株)パル 執行役員
第2事業部長 谷田 真美



4ー①. サステナビリティへの取り組み

2020年度のサステナビリティレポートを発行しました

コロナ禍を経た新たな生活様式の中で、消費者のサステナビリティに対する意識も高まる傾向にあり、企業としての役割はますます重要になってきております。私たちが今年一年間取り組んできたサステナビリティに関わる様々な取り組みを、お客様、お取引各社、従業員、そして投資家の皆様にご報告するために、本年度のサステナビリティレポートを作成致しました。



こちらからダウンロードできます

<http://www.palgroup.holdings/sustainability/>

SDGsの目標達成期限である2030年に向けて

SDGsが示す18のゴールのなかで、私たちの企業活動に直結し、なおかつ貢献できると思われる、右に記した5つのゴールの達成に向けて、グループ一丸となって取り組んでいます。サステナビリティ委員会が中心となり進めている、私たちの日常の企業活動を通じた様々なサステナビリティのアクションを通して、アパレルファッション業界の未来へ向けた進化の一助になりたいと願っています。



ジェンダーギャップを無くし、誰でも活躍できる環境を整え、女性の経営への参画を進めています



サプライチェーンの可視化を進めると同時に、アパレルの廃棄問題を是正するための消化率の向上を図ります



企業の成長を基に、持続可能な経済成長を支える働き甲斐のある雇用環境を維持、拡大していきます



サプライチェーンのパートナー企業と目標を共有し、パートナーシップを強化し、互いに手を携えながらサステナブル活動を実行していきます



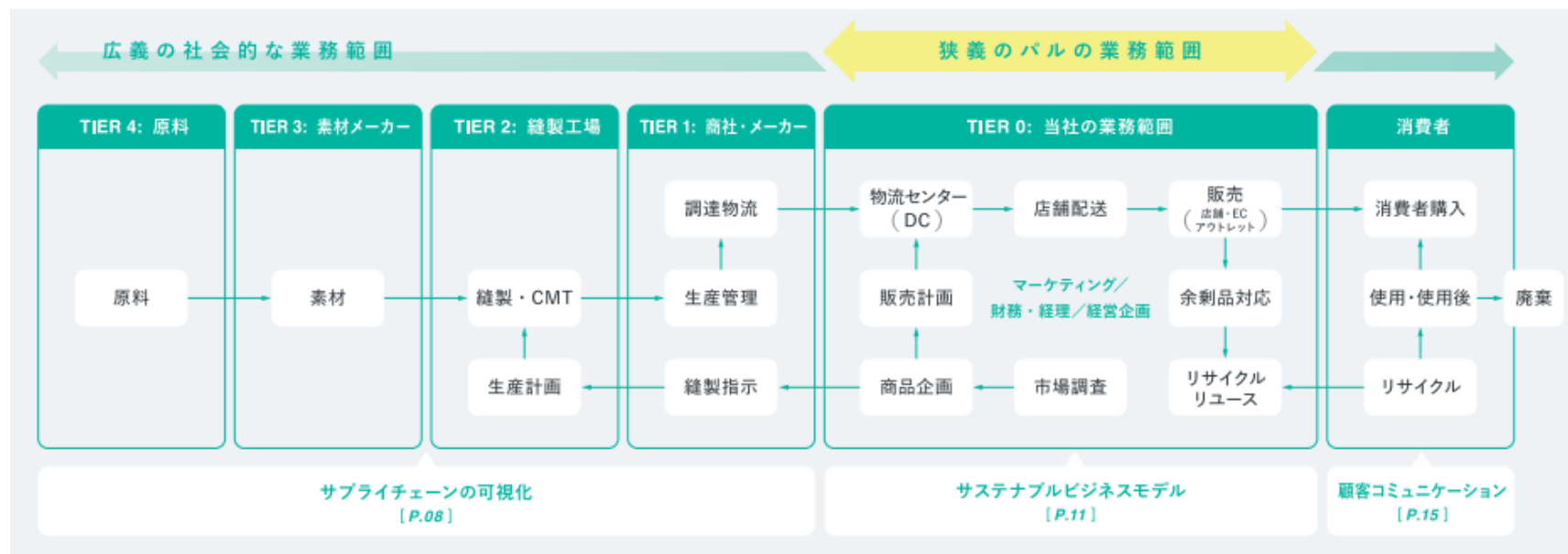
経済格差を広げる不平等な労働環境を生み出さないよう、フェアトレードを推進します

4ー②. サステナビリティへの取り組み

バリューチェーンから考えるサステナビリティ・アクション

私たちのビジネスモデルは川中、川上のバリューチェーンにおいて複数の企業と強固なパートナーシップを組むことで、より高効率で俊敏性を持った供給体制を担保しています。その際に私たちの生産パートナーである商社やメーカー各社に、私たちの考えるサステナブルの要件を、正しく理解して、共に実行していただく事が重要であると考えます。

今年度は、1. サプライチェーンの可視化、2. サステナブル・ビジネスモデル、3. 顧客コミュニケーションの3つの観点で、私たちのサステナビリティ・アクションを実行しました。



パルグループのバリューチェーン

SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP HOLDINGS

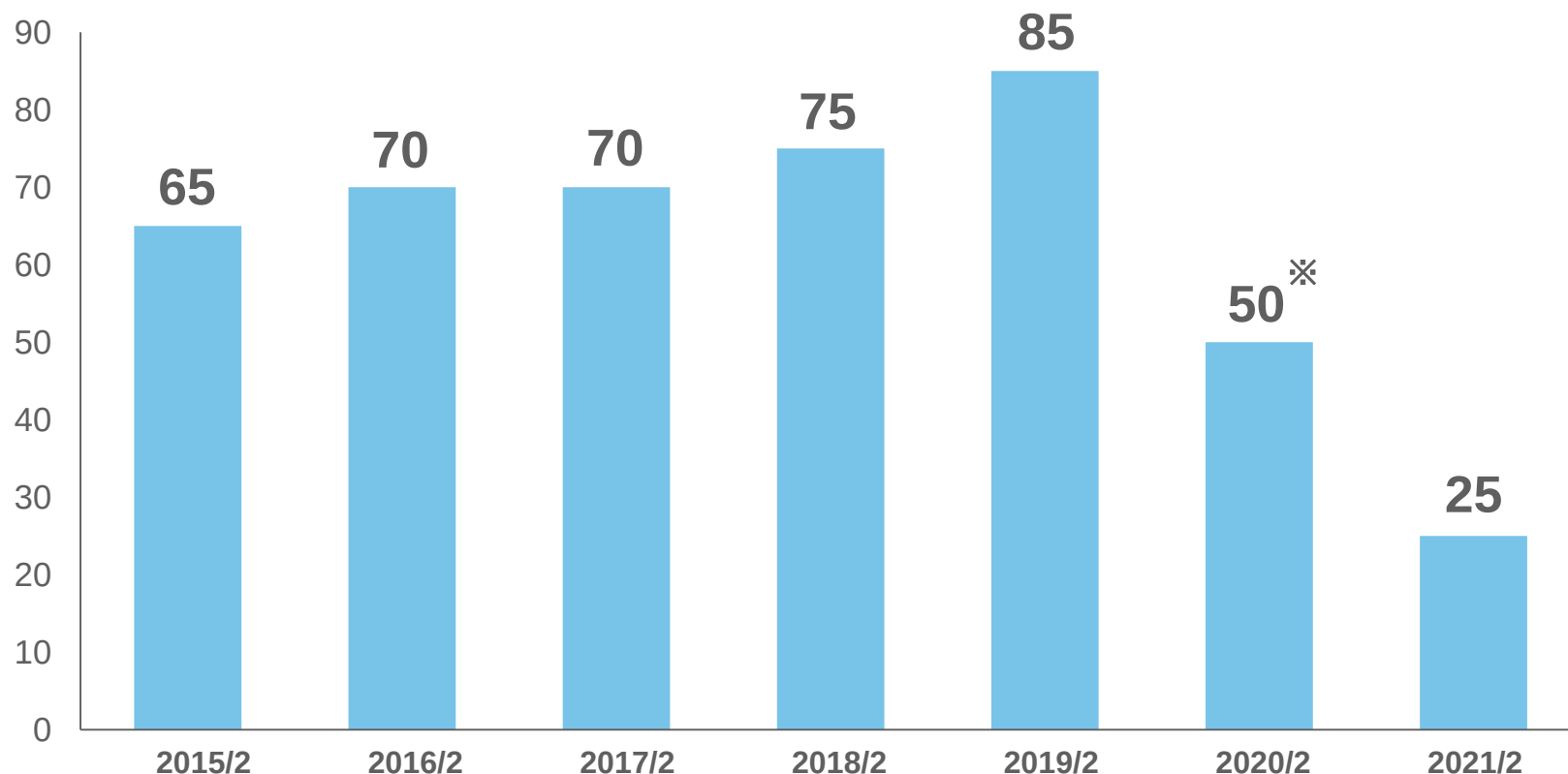
株主様への対応

1. 株主還策について
2. 株主優待制度について



1. 株主還元策について

- 安定配当を継続することを利益還元の基本方針とする
- 当期末の1株当たりの配当は、25円とする(前期比25円減配)



※2020年3月1日を効力発生日として、1株を2株にする分割を実施済で、結果として、2月期末に1株あたり100円へ増配した配当は、50円へ自動的に変更されました。

2. 株主優待制度について

『株式の投資魅力を高める目的で、株主優待制度の拡充を決定』

当社株式の投資魅力を高めることで、新規の個人投資家様の拡大へ繋げると共に、中長期の保有を促進することを目的といたしまして、株主優待制度を下記の通り拡充致しました。

優待制度の内容

● 対象となる株主様

毎年2月末日現在の当社株主名簿に記載または記録されている100株（1単位）以上を保有されている株主様を対象といたします。

● 株主優待の内容

保有株式数に応じて、以下の4つの割引優待を選択出来る共通割引優待券を付与することとし、その利用期間は、毎年6月1日から翌年5月31日までとします。

- ①全国の当社グループ店舗でのご購入代金の15%を割引
- ②当社ECサイト「PAL CLOSET ONLINE STORE」でのご購入代金の15%を割引
- ③当社の関係子会社である株式会社フリーゲート白浜が和歌山県西牟婁郡白浜町にて運営する宿泊施設「浜木綿くろしお山荘」及び「フリーゲート白浜」での宿泊コース料金の50%を割引
- ④金谷ホテル観光株式会社との提携により、同社が日光・鬼怒川エリアで保有する「鬼怒川温泉ホテル」での宿泊コース料金の50%を割引(2020年6月1日より)

● 優待券の付与枚数…株式分割後も変更せず、実質倍増

所有株式数	100株以上	200株以上	500株以上	1,000株以上
付与枚数	2枚	4枚	6枚	10枚



SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP HOLDINGS

ESGへの取組み

1. 当社のESGの取組み
2. PALフォレスト事業(Environment)
- 3-①. 障がい者雇用(Social)
- 3-②. 関西学院大学での寄附講座(Social)
- 3-③. パル井上財団での取組み(Social)
4. ジェンダー平等と働き方改革(Governance)



1. 当社のESGの取組み

当社のESGの取組み(Environment Social Governance)は、継続的に利益を上げ、税金を払い、雇用を継続するという企業の日常の活動を通して、『社員と株主みんなの幸せのための経営』という経営理念と、『未来につなげる社会と地球のための経営』の実現に向け、邁進することと考えています。



2. PALフォレスト事業(Environment)

PAL GROUP HOLDINGS

「PALフォレスト事業」の取組み (Environment)

2012年より、世界遺産の奈良吉野の森で、植林活動に取り組んで来ました。日頃使用する包装材の生い立ちに思いを馳せて、毎年多くの社員、家族が参加することで、地球環境の維持の大切さを認識する、貴重な体験を共有しています。



3-①.障がい者雇用(Social)

『障がい者の運営する』全国初のホテル、旅館を全面支援 (Social)

当社は、2011年6月より、障がい者雇用を目的としたホテル『フリーゲート白浜』を運営してきましたが、近隣の宿泊施設を買収し、料理旅館『浜木綿くろしお山荘』として、事業を拡大し、営業を開始しました。

両施設とも、従業員の大半が障がいを抱えており、ホテルや旅館業のようなサービス業での雇用は、全国でも珍しいケースとなっていますが、当社での接客ノウハウを伝えながら、障がいのある人が自分たちで考えて、仕事を完結できるようにしています。



浜木綿くろしお山荘 ▶ www.hamayu-kuroshio.com

3-②.関西学院大学での寄附講座(Social)

PAL GROUP HOLDINGS

関西学院大学、国際学部での寄附講座の取組み (Social)

当社は、2013年から5年間の大阪大学での寄附講座に続き、2019年から、関西学院大学、国際学部での寄附講座を開始いたしました。机上での理論に加え、経営、流通の現場からの講義を通して、将来の人材育成に寄与し続けたいと考えています。



美しい時計台のある関西学院キャンパス



3-③.パル井上財団での取組み（Social）

PAL GROUP HOLDINGS

『公益財団法人パル井上財団』での人材育成①（Social）

当社は、2013年より、創業一族である井上ファミリーとともに『一般財団法人パル井上財団』を設立した後、現在は公益財団としての認定を内閣府より受けて公益事業を行なっております。

具体的には、将来、ファッション業界や関連する分野に貢献しうる有用な人材を育成したいという趣旨から、学業・人物ともに優秀で、経済的理由により修学が困難な学生に対し、奨学金を給付することを目的としています。

現在、約50名の全国の総合大学及び服飾系の大学・専門学校の学生（留学生を含む）に奨学金を給付しています。

『公益財団法人パル井上財団』
Webサイト

トップページ



パル井上財団

3-③.パル井上財団での取組み（Social）

PAL GROUP HOLDINGS

『公益財団法人パル井上財団』での人材育成②（Social）

パル井上財団では、奨学金の給付事業に加え、2018年より、服飾専門学校の流通学科を専攻する学生によるロールプレイ大会を開催する運びとなりました。

『PAL FOUNDATION CUP』と名付けられた大会には、北海道から九州までの多数の服飾専門学校から選抜された学生により、優劣の付け難い内容でのロールプレイングを披露して頂き、今後、ファッションビジネスを目指す学生の目標となる大会にしていきたいと思います。



4.ジェンダー平等と働き方改革(Governance)

PAL GROUP HOLDINGS

徹底した『ジェンダー平等』と『働き方改革』(Governance)

『①ジェンダー平等』

当社には、「働きに応じて平等」という、クリアな人事制度評価上での指針が徹底されており、一人ひとりが、モチベーションの向上と共に、安心して働ける環境が整備されています。

	売上	粗利	人件費	在庫	資金	棚卸	合計	100点換算
第一事業部	396	116	84	71	...	...	...	98
第二事業部	353	78	77	...	...	...	...	86
第三事業部	310	93	...	...	...	...	...	...
第四事業部	378	...	...	...	...	...	...	...
第五事業部	...	...	...	...	...	...	...	...
第六事業部	...	...	...	...	...	...	...	...
第七事業部	...	...	...	...	...	...	...	...
開発事業部	...	...	...	...	...	...	...	...
全社合計	382	82	66	61	...	...	...	85

『②働き方改革』

当社は、1日8時間に捉われないフレキシブルな労働時間の設定を可能にする運用を始め、有給休暇や長期休暇の取得も容易になるなど、メリハリのある職場環境の醸成に努めています。

社 是

「常に新しいファッションライフの
提案を通して社会に貢献」

グループ 経営理念

「社員と株主みんなの
幸せのための経営」

社 名	株式会社 パルグループホールディングス
所 在 地	【本社所在地】 大阪府大阪市中央区道修町3-6-1 京阪神御堂筋ビル10F 【東京本社】 東京都渋谷区神宮前6丁目12-22 秋田ビル4F
代 表 者	井上 隆太
資 本 金	31億8,120万円
設 立	1973年10月
事業内容	婦人服・紳士服・雑貨等の企画・製造及び卸・小売
店 舗 数	932店舗

経営企画室

TEL 06-6227-0308

FAX 06-6231-1056

本資料に記載されている、計画、戦略、予想などのうち、歴史的事実でない情報は将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは異なる結果となる可能性があることをご了承ください。

また、本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定はご自身のご判断において行われるようお願いいたします。